

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	
						目標1	目標2	目標3	目標4			
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (1)多様な講座や学習機会の提供・充実 1-1-(1)												
1	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感!ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課
2	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 125,500部 8回 8月10日～12月25日 126,000部 10回 1月25日～3月25日 126,500部 5回 計年23回 1月1日号 98,890部 年1回	✓	✓	✓	-	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。	広報課
3	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	-	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努める。	広報課
4	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3)			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(平成30年度発行) 次回発行:令和2年度7月予定	✓	✓	✓	-	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知することができる	広報課
5	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2)			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	✓	✓	✓	-	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課
6	1-1-(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	豊かに安全で生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	避難所総合訓練【1,305人】防災フェスタ【3,039人】 地域防災訓練【13,068人】防災コンクール【500人】 避難所運営訓練【279人】	✓	✓	✓	✓	・さまざま訓練を通じて、区民や区内事業所等へ防災意識の普及や知識の向上を図ることができた。 ・若い世代への普及啓発が課題である。	防災課
7	1-1-(1)			職業に関する学習機会の充実	経営者や従業員が必要としている知識・技術の習得を図るため研修や講演会等を開催する。	中小企業向けセミナー 9回 中小企業向け講演会 1回	-	✓	✓	-	経営者や従業員が必要な知識・技術を学ぶ機会を提供できた。	経済課
8	1-1-(1)		産02-01	職業に関する学習機会の充実	区内で創業を目指す人に対し、実践的な技術、理念を学ぶ機会を提供する。	創業支援セミナー入門編 創業支援セミナー実践編(全5回) 創業支援セミナーひとりで起業編(全5回)	-	✓	✓	-	創業に必要な知識や技術を提供することができた。	経済課
9	1-1-(1)		産05-01	生活技術を身につける学習機会の充実	安全で豊かに生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	消費生活研修会8回、携帯電話教室2回 消費生活展は新型コロナウイルス感染拡大予防のため事業中止 出前講座32回	✓	✓	✓	-	消費生活に関する学習機会を提供できた。	経済課(消費生活センター)
10	1-1-(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	子どもの生活技術向上を高める学習機会を提供する。	子ども向け研修会2回 子ども向け出前講座12回 幼児向け消費者教育2回	✓	✓	-	✓	子どもに対する早期の消費生活に関する学習機会を提供できた。	経済課(消費生活センター)
11	1-1-(1)			幼児・児童・生徒を対象とした事業の充実	遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供する。	児童館行事各種(リズム、遠足、卓球、リズムダンス、サッカー教室、ドッジボール大会、運動会、手芸教室、キッズバレエ、ベビーマッサージ、ベビーヨガ、季節行事、伝承遊び等)	✓	-	✓	-	遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供した。	児童青少年課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	
							1	2	3			4
12	1-1-(1)		地06-01	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会の充実	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会を提供する。	【ダイバーシティ推進担当】 ・男女平等参画セミナー ・女性再就職セミナー&相談会 1回(5月23日 参加者37人) ・キャリアポフエスタ 1回(7月30,31日 参加者454人) ・DV防止啓発セミナー(1月19日 参加者57人) ・文京SOGIにじいる映画会 1回(12月5日 参加者180人) ・グローバル推進事業 2回(11、3月) ・未来ワークショップ 3回 (7,8,9月 参加者22人) ・人権啓発映画会1回(12月7日 参加者85人) ・人権と音楽講座 2回(①7月11日 参加者241人 ②1月24日 参加者56人) ・難民支援 UNHCR WILL 2 LIVE映画会(10月4,5日 参加者1226人) ・性被害防止セミナー(2月15日 参加者10人) ・文京SOGIにじいるサロン 6回(延べ参加者 57人) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回(6月16日 参加者150人) ・男女平等センターまつり講演会 1回(10月27日 参加者150人) ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回(12月5日 参加者26人) ・プラスワンセミナー 5回(①6月7日 参加者22人 ②7月6日 参加者30人 ③9月12日 参加者26人 ④12月13日 参加者24人 ⑤1月28日 参加者29人) ・父と子の料理教室 2回(①8月3日 参加者16人 ②8月4日 参加者24人) ・保育園情報展示 1回(9月7日~19日 参加者541人) ・区政を知る懇談会 2回(①8月1日 参加者18人 ②1月21日 参加者17人) ・裁判ウォッチング 1回(11月13日 参加者32人) ・利用者懇談会 2回(①6月14日 参加者33人 ②12月11日)	✓	✓	✓	-	・働き方、教育、健康、地域参画、防災、芸術など様々な切り口で男女平等についての学習機会を提供することができた。 ・男女平等センターまつり講演会では、著名な講師を招いたことで参加者の反響が大きく、アンケート結果でも、男女平等に対する理解が改められたとの感想が寄せられた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の一部を実施することができなかった。 ・固定的な性別役割分担意識や、セクシュアルハラスメントなど、男女平等社会へ向けて取り組むべき課題が未だに残っているため、継続的に学習を提供していく必要がある。 ・今まで事業に参加された方以外の方にも、事業に参加してもらうように、広報やテーマを工夫していく。	総務課
13	1-1-(1)		安03-01	自転車実技講習会	自転車の利用・点検や整備について理解を深め、交通のきまり、約束等を守って安全な乗車ができるようにする。	2回講習会開催 120人自転車運転免許証発行	✓	-	-	自転車実技講習、DVD・リーフレット等を使った交通安全教室により、小学生3・4年生に対し自転車利用安全(ルール・マナー)の周知を図っている。	管理課	
14	1-1-(1)			自然散策会	自然の植物と親しみ、緑に対する関心を深めるとともに、自然保護に対する意識の高揚を図るため、自然散策会を開催している。	(1)秋(12月7日)小石川植物園にて開催 定員:40名、応募者数:52名、参加者数:32名 (2)冬(2月15日)小石川後楽園にて開催 定員:40名、応募者数:32名、参加者数:29名 (3)春(3月14日)東京大学構内にて開催を予定していたが中止 理由:新型コロナウイルス感染拡大防止のため	✓	✓	✓	✓	・平成29年度より年3回実施しているが、毎年、人気が高く、多くの募集が見込まれる。 ・3箇所とも実施の希望の多い箇所であり、他の時期での実施も望まれている。(四季の移り変わりの観察)	みどり公園課
15	1-1-(1)		環01-02	植物講演会	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、小学生を対象とした講演会を開催している。	7月28日に小学校3年生(保護者付添い)から6年生を対象に実施 定員:20組(保護者含む40名)、参加者数:16名(保護者12名)計28名	✓	✓	✓	✓	・小学生の夏休み期間に実施されるため、多くの希望者が見込まれる。 ・参加者の増員を検討するが、実験等で目が届かないこともあるため難しい。	みどり公園課
16	1-1-(1) 新規追加		環01-02	苗木配付	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、東京都苗木生産供給事業を活用し、文京区民を対象とした苗木配付事業を実施する。	10月5日に礪川公園にて実施 定員:200名(抽選)、参加者数180名	✓	✓	✓	✓	・過去にも実施していたため、事業の開始を喜ぶ声が多く聞こえた。 ・人気の樹種に偏りがあるため、余ってしまった。	みどり公園課
17	1-1-(1) 1-2-(1)	88	環02-02	文京ecoカレッジ公開講座	区内で活動しているリサイクル団体の企画による公開講座を一般区民向けに行っている。	【平成12年度~】令和2年2月26日実施予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。	✓	✓	✓	-	・海洋プラスチックごみ削減をテーマとした講義を通して、2R優先の推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課
18	1-1-(1)	88	環02-02	文京ecoカレッジモノ・フォーラム	モノ・プランの推進を目指しごみ減量への区民向けの普及啓発の一環として年1回フォーラムを開催している。	令和2年1月24日学習室にて実施した。定員40名、応募者33名、参加者26名。	✓	✓	✓	-	・日々の食生活を見直して無駄をなくす方法等について紹介することで、食品ロス削減の推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	
						目標1	目標2	目標3	目標4			
19	1-1-(1)		子02-02	家庭教育講座	家庭における教育力の向上のため、講座・講演会を開催する。	・家庭教育に関心のある方を対象に、講座9回、座談会1回を実施した。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホール 他、庁内の会議室 ①6月11日(25名) ②7月11日(60名) ③8月5日(11名) ④9月10日(25名) ⑤10月11日(48名) ⑥11月14日(39名) ⑦12月12日(37名) ⑧1月20日(20名) ⑨2月18日(15名)	✓	-	✓	-	・参加者アンケートでは毎回8割以上の回答者がよかったと回答し、好評である。 ・対象年齢によるコース制を廃止し、誰でも自由に参加できるような形で実施している。テーマに関しては保護者のアンケート等を参考に新しいテーマを取り入れるように検討を進めているところである。	教育総務課
20	1-1-(1)		子02-02	家庭教育講座 「今だからこそ考えたい放射能—事故から三年半・測定の現場から—」	①東京大学大学院教育学研究科有志のコーディネートにより、放射性物質の特徴や正しい放射線量の測定方法等について、専門家の話を伺う。 ②東京大学大学院教育学研究科有志のコーディネートにより、被曝による健康問題等について、専門家の話を伺う。	第4回家庭教育講座で実施。 「放射線をもう一度考える～文京区立小学校の授業から～」 実施日：9月10日 参加人数：25人	✓	-	-	-	参加者アンケートで全員がよかったと回答している一方、興味関心の高い方だけの参加になりがちである。	教育総務課
21	1-1-(1) 2-3-(4)		教03-01	健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行う。	歯と口の健康づくり2019 参加者241名、学校保健会特別講演参加者113名、学校保健・給食大会 実施なし	✓	-	-	-	2月開催予定だった学校保健・給食大会事業は、新型コロナウイルスの影響により中止となった	学務課
22	1-1-(1) 1-3-(2)			地域行事への学校の参加の促進	地域の様々な催しに学校が積極的に参加し、地域と学校の連携を図る。	各幼稚園・小学校・中学校において、地域のイベント等に幼児・児童・生徒が参加	-	✓	✓	-	地域の様々な催しに学校が積極的に参加することで、地域と学校の連携を図られている。	教育指導課
23	1-1-(1)		教02-01	科学教育事業の充実	児童・生徒等に対し、地域で交流したり、学習する機会を充実する。	幼児・児童・生徒・保護者を対象とした講座を49回実施し、計1838名が参加し、学習活動を行った。	-	✓	✓	-	幼児から小学生の参加が多く、自然科学や情報教育を推進できた。中学生の参加者を増加させることが課題である。	教育センター
24	1-1-(1)		教02-01	子ども科学カレッジ(科学教育事業の充実)	区内大学等の研究者を講師として招き、小学校4年生～中学生を対象に、大学の高度な学術研究の成果を体験できる講座を開催する(全10回)。	講座を13回実施し、小学4年生から中学3年生まで計278名の参加があり、大学の最新の研究成果に触れるとともに、学術研究の素晴らしさを体験した。	-	✓	✓	-	優れた講師による講座や最新の科学技術に触れるよい機会となっている。中学生の参加者を増加させることが課題である。	教育センター
25	1-1-(1)			教養を高める学習機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会を充実するため、政治や選挙に関する教養講座を開催する。	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を7回実施(当初は11回の予定であったがコロナの影響で4回中止となった)	✓	✓	✓	✓	出前選挙を行った際のアンケート結果では将来投票に行く9割以上が応えている。一方で、実施できていない学校があるため、引き続き区立中学校全校実施に向けた取組みを進める。	選挙管理委員会
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (2)学習や活動ができる環境の提供											1-1-(2)	
26	1-1-(2)			区内大学等との連携の拡大	区民にとって大学を文化的資産ととらえ、区と大学が相互に協力することで、文化・教育の学びの場としての賑わいを図り、文京区の魅力を高め、地域社会の活性化を目指す。	相互協力協定締結大学 区内16大学 区内大学との連携事業数 元年度332件(事業数122)	✓	✓	✓	✓	多くの事業で大学との連携・協働ができている。大学の特色により連携大学に偏りがあがる。	アカデミー推進課
27	1-1-(2)			文京区インターンシップ	事業参加者が、自己の適性を把握し個々の能力に適した進路に進めるよう、区内大学等の学生を対象に区政実務の体験実習を行っている。なお、本事業は参加者より住民目線での提言をいただき、区民志向で質の高い効率的な行政運営体制を確立することを目的としている。	【平成15年度～】 8月13日(月)～24日(金)のうち10日間 参加者：14名 <内訳> 区内大学推薦：9大学9名 区民公募：5名	-	✓	✓	-	・公務員を目指す学生等に好評である。	職員課
28	1-1-(2) 5-2-(2)			能力開発『実務・専門』ステージ 実務研修「庁内留学in Bunkyo～国際交流人の育成～」	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、外国人講師による英語研修を実施するとともに、TOEICの受験を研修に盛り込み、TOEIC600点以上の取得者及び既存で英会話可能な職員をEnglish Navigatorとして配置し、外国人来庁者への中心的役割を担わせる。	【平成27年度～】 5月～12月(前期・後期) グループレッスン、マンツーマンレッスン、自習 受講者 前期(5～8月) 17名 後期(9～12月) 20名	✓	✓	-	-	・受講生に好評である。 ・TOEIC600点以上の取得者を増やすことが課題である。	職員課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標1	目標2	目標3	目標4	特記事項(効果と課題)	担当課
29	1-1-(2) 1-3-(2)			産学官が連携するための拠点づくり	産学官が連携して創業及び中小企業支援を進めていくために、連携の核となる新たな拠点づくりを検討する。	創業に係る現在の経済情勢を踏まえ、区の方針について検討を実施した。	-	-	✓	-	連携のあり方、手法についてもあわせて検討する必要がある。	経済課
30	1-1-(2)			社会福祉士相談援助技術現場実習	社会福祉士の資格を取得する為の実習。毎年8月下旬～10月上旬までの期間で計180時間	令和元年度は8月5日～9月20日まで実施 東洋大学、日本大学	✓	✓	✓	-	社会福祉士の資格を取得するための実習となっているため、複数の大学より、学生の受入依頼がある。 ・実習指導者が少なく、十分な学生の受け入れが難しい。	福祉政策課
31	1-1-(2)		高福03-05	認知症サポーター養成講座	跡見学園女子大学で認知症サポーター養成講座を実施します。	跡見学園女子大学において実施 ①R1.6.6受講人数12人 ②R1.7.5受講人数13人 ③R1.9.6受講人数5人	-	✓	-	-	大学内ゼミにおいて講座を開催することで、学生層への普及啓発の一助となった。サポーターとなったその後の活躍の場やステップアップ講座へのつながりを検討することが課題である。	高齢福祉課
32	1-1-(2) 2-2-(3)			健康まち歩き	「体力アップフェア」の後継事業として、シニアプラザ事業で複数行っていたイベントのうち「健康まち歩き」を一般事業化してH28年度から継続実施。 学生が年度当初から企画作成した区内探訪コースを、専門の講師による正しい歩き方教室を受講後、学生の案内で歩く。多世代交流を通じて高齢者の生きがい及び健康の向上を図る。	プレ実施 令和元年9月25日(水) 本大会 令和元年10月26日(土) 学生ボランティア18人・文高連8人・一般区民19人・大学関係者2人・区関係者10人(講師2人、看護師1人、高齢福祉課7人) 計:57人	✓	-	-	-	健康運動士によるウォーキング講座を受講後、学生が作ったコースをおしゃべりやカフェを楽しみながら一緒に散策した。文高連会員や学生による細やかな配慮のもと、参加者の満足度も高く、心身ともに元気に過ごせる地域づくりに寄与することができた。今後より多くの方に参加していただけるよう、周知に努めていく。	高齢福祉課
33	1-1-(2) 2-2-(2)			からだコンディショニング事業(福祉センター江戸川橋・湯島)	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防ぎ、要介護及び要支援状態になることを予防するための健康維持事業を行う。 ※「すこやか体操」(音羽)「心もからだもいきいき体操」(湯島分館)の後継事業(平成28年度より)	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施した。 【江戸川橋・湯島共通】 1クール12回程度×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 579人・湯島 520人	✓	-	✓	-	理学療法士を講師に招いたり、各回テーマを変え実施した。この体操から、定期的にある自主事業の体操に参加につなげることができた。	高齢福祉課(福祉センター)
34	1-1-(2)		子05-10	児童館・育成室等の整備	待機児童の解消のため新規育成室を設置する。また、内装改修及び設備整備を行う。全児童館の開館時間を午後6時まで延長し、中高生の居場所として活用している。	児童館において、断熱改修工事やトイレ洋式化工事等の各種工事を行った。 ◆断熱改修工事及びトイレ洋式化工事(小日向台町児童館) ◆空調改修工事(根津児童館) ◆照明設備工事(本郷児童館)	✓	-	-	-	待機児童の解消のため引き続き育成室の増設に取り組んでいく。	児童青少年課
35	1-1-(2)		子01-01 子01-02	子ども家庭支援センター事業	相談事業や親子ひろば事業、育児支援ヘルパー事業等を実施することにより、家庭における保護者の子育て及び子どもの健全な育成を支援する。また、要保護児童対策地域協議会の調整機関として、関係機関のネットワークを整備し、児童虐待の予防、早期発見・対応ができる体制を構築する。	子ども家庭支援センター実績 ・総合相談事業:一般相談19,308件 専門相談308件 児童虐待(再掲)13,487件 総件数 19,616件 ・親子ひろば事業 登録者数 3,652人 利用者数 25,297人 ・子育て支援講座 26回開催 参加者数 642人 ・育児支援ヘルパー事業 派遣回数延485回 派遣家庭27家庭 ・要保護児童対策地域協議会 個別ケース会議76回 医療関係者会議2回 実務者会議4回 代表者会議1回	✓	✓	✓	-	・子どもと家庭に関する相談事業、情報交換や交流の場を提供する親子ひろば事業を実施するとともに、子どもとの関わり方や子育てに関する不安や悩み等をテーマに子育て支援講座を開催し、参加者の不安や悩みの軽減を図りました。 ・相談対応件数の増加に加え、複雑な状況を抱える子どもや家庭等を支援するために、関係機関との連携をさらに強化する必要があります。	子ども家庭支援センター
36	1-1-(2)		健02-03	レッドリボン展	ギャラリーシビックでエイズ啓発物展示	レッドリボン展:R1年12月12日ギャラリーシビックで開催。365名参加。区民ひろばで尚美ミュージックカレッジ専門学校によるレッドリボンコンサート同日開催。84名参加。	-	-	✓	-	・アンケート結果では各展示物に対する評価は概ねよく、医学的知識が更新されたとの内容が25件あった。検査を受ける為の心理的ハードルが低くなるよう、また必要な人には追加説明して情報提供できるよう啓発の継続が必要である ・コンサートでは、椅子を抜いてベビーカーを椅子に横付けできるようにし、1人での途中参加者にも椅子を勧め、来場者増加につながった。	予防対策課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	
							1	2	3			4
37	1-1-(2)			巨木スタンプラリー 東大	小学生の親子を対象に、身近な自然に親しんでもらうため、巨木を巡るスタンプラリーを実施。会場に東京大学本郷キャンパスを使用し、事業運営に各大学の学生ボランティアが参加している。	10月27日に東京大学本郷キャンパスにて実施 定員175組(児童+保護者)、参加者数152組(350名)	✓	✓	✓	✓	・毎年、多くの参加希望者があり、定着した事業となっている。 ・29年度は、直前での中止となったため、実施の有無の判断を早期に行うと共に、周知の方法を検討していく。	みどり公園課
38	1-1-(2)		環02-02	親子環境教室	環境意識啓発を目的として「体験を通じて、考え、調べ、学び、行動する」という体験型環境学習の機会を提供する。	親子環境教室(6回実施) ①8月3日 参加者66人(親:28 子:38)/応募37組抽選 ②8月3日 参加者47人(親:20 子:27)/応募25組抽選 ③8月24日 参加者34人(親:14 子:20)/応募25組抽選 ④8月24日 参加者28人(親:13 子:15)/応募23組抽選 ⑤10月26日 参加者52人(親:21 子:31)/応募45組抽選 ⑥12月14日 参加者93人(親:45 子:48)/応募194組抽選	-	✓	-	-	・平成28年度から実施回数を増やしたため、令和元年度も多くの親子に体験型環境学習の機会を提供することができた。 ・1回目で応募が多かった講座を再度開催したが、2回目の応募数が定員を上回ったため、希望者全員に機会を提供することができなかった。	環境政策課
39	1-1-(2)			校外施設の区民利用	児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的として設置されている八ヶ岳高原学園について、区民利用者数の増加を図る。	開放期間:4月~11月まで 区民利用実績:延べ720名	✓	-	-	-	利用者が固定されている傾向にあるため、広報活動に工夫が必要である。また、建設から約40年が経過し、施設内の付帯設備及び浴室棟の老朽化が進んでいるため、令和2年度より改修を計画している。	学務課
40	1-1-(2)			文京区教育ビジョンの推進(教育ビジョンの具体化の推進)	教育ビジョン推進プランに基づき、生涯学習の基礎づくりを図り、豊かな人間性を育む教育を、学校・家庭・地域において推進するための環境整備を行う。	かがやく心(リーフレット)作成 道德授業地区公開講座の全小・中学校で実施	✓	✓	-	-	豊かな人間性を育む教育を、学校・家庭・地域において推進するための環境整備を行っているが、今後も継続していくことが重要であると捉えている。	教育指導課
41	1-1-(2)			校外施設での学習の推進	自然にふれ、自然の中で生活することにより、豊かな体験ができるよう、校外施設での学習を行う。	自然体験教室、八ヶ岳高原学園、岩井臨海学校	-	✓	-	-	自然にふれ、自然の中で生活することにより、豊かな人間性を育むことにつながっている。	教育指導課
42	1-1-(2)			理科推進事業	区立中学校1・2年生に対して、講義および演示、実験等を行い、科学に対する興味、関心を高める。	お茶の水女子大学	-	✓	-	-	科学に対する興味・関心の高まりについては、効果が表れている。引き続き、科学に興味・関心を高めていくことが課題である。	教育指導課
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (3)あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実											1-1-(3)	
43	1-1-(3)			学習関連情報の収集・提供	区が集約した行政機関学習関連情報に加え、生涯学習関連機関の情報も積極的に収集、一元化し、区民等に効果的に提供する。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスター掲示、チラシ配架をアカデミー施設及び図書館等で行っている。	✓	✓	✓	✓	地域アカデミーや図書館で掲示することで区民に広く周知することができる。 より効果的に周知できる方法を検討する必要がある。	アカデミー推進課
44	1-1-(3)			大学等の生涯学習情報の収集	大学の公開講座、社会人入学などに関する情報を収集し、区民等に提供する。また、高校の公開講座の情報も収集する。	大学の公開講座・講演会の予定を指定管理者である(公財)文京アカデミーの広報紙「Square」ポスターの掲示及びチラシ配布をアカデミー施設及び図書館等で行っている。	✓	✓	✓	✓	地域アカデミーや図書館で掲示することで区民に広く周知することができる。 さらに周知できる方法を検討する必要がある。	アカデミー推進課
45	1-1-(3)			文京アカデミー講座案内、区報、(公財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付	生涯学習講座の受講者募集に合わせ、講座案内、区報、(公財)文京アカデミーHPなどの活字メディアのほか、(公財)文京アカデミーHP内に講座案内を掲載。申込は、ほかのほかに、インターネットからも受け付けます。	・文京アカデミー講座案内パンフレット 3回発行(前期・後期・後期Ⅱ 各4,500部) ・夏休み子どもアカデミー講座パンフレット 1回発行(7,000部) ・財団広報紙(100,000部)、広報紙音声版CD、区報、HP等各種メディアを活用した講座案内及び申込受付を実施	✓	-	-	-	・様々なツールを用いて周知し、効果的に財団事業をPRできた。 ・HP掲載により、インターネットからの申し込みが増加している。	アカデミー推進課
46	1-1-(3)			障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供する。	各種障害者対象講座の開催(料理、体操、アロマセラピー、陶芸等)	✓	-	-	-	各種講座の開催は、学習機会の提供のみならず、障害者のふれあいの場、交流の場となっている。	障害福祉課
47	1-1-(3)		子06-01	保育施策	事業所内保育所である「順天堂もとまち保育所」において、区民枠として30名を保育している。また、旧元町小学校で運営している順天堂病後児ルーム「みつばち」に、病後児保育事業を委託している。	病後児保育事業延べ利用者数 983人	-	-	✓	✓	病気により集団保育の困難な児童を一時的に預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援した。 一方、利用予約により、定員が満員になるが、保護者の勤務予定や子どもの体調等の変化により、直前のキャンセルが多数あるため、結果的に空きが出る状況になっている。	子育て支援課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課
							1	2	3	4		
48	1-1-(3)		子04-04 子04-07 子05-02	保育サービスの充実	多様化する保育需要に対応するため保育サービスの充実に努める。	延長保育 82園 0歳児保育 64園 障害児保育 全園 年末保育 3園 緊急一時保育 17園 リフレッシュ一時保育 17園 一時保育 3カ所 認証保育所 3カ所 グループ保育室 1カ所 地域子育てステーション 19園 臨時保育所 1カ所	✓	✓	✓	✓	私立認可保育所の開設により、延長保育、0歳児保育、障害児保育の充実を図った。 今後も、私立認可保育園等の開設により、更なる充実を図っていく。	幼児保育課
49	1-1-(3)			お茶の水女子大学の開設準備	区とお茶の水女子大学は、平成28年4月に認可保育所に幼稚園機能を備えた区立の保育所型認定こども園を大学の敷地内に開設する予定である。当該認定こども園の運営については、区が大学に業務全般を委託して実施するものであり、現在、開設に向けての協議を行っているところである。 ※本計画に関する共同記者会見を9月29日に実施	全年齢0～5歳児までの93人で園運営を実施した。育児相談等の地域子育て支援事業のほか、区内保育士の保育見学受け入れや、区立中学生の職場体験などの地域連携交流も積極的に実施した。 また、2月には、こども園での実践の成果を区内の幼児教育・保育の質の向上につなげるため、「第4回お茶大こども園フォーラム」を開催した。	✓	✓	✓	✓	「お茶大こども園フォーラム」は、毎回、区内の公私立保育園・幼稚園関係者はもちろんのこと、日本中の保育者や研究者が数多く参加し、好評を得ているところであるが、今後、こども園での実践の成果を、区内の幼児教育・保育施設へどのように還元していくかが課題となっている。	幼児保育課
50	1-1-(3)			講座等での保育室の設置	子育て中の男女が積極的に参加できるよう一時保育について配慮する。	【ダイバーシティ推進担当】 ・女性再就職セミナー 1回(利用者4人) ・DV防止啓発セミナー1回(利用者7人) ・文京SOGIにじいろ映画会 1回(利用者3人) ・人権啓発映画会 1回(利用者なし) ・人権と音楽講座 2回(①7月11日 参加者2人 ②1月24日 参加者3人) ・性被害防止セミナー(2月15日 参加者3人) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回(利用者なし) ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回(利用者2人) ・プラスワンセミナー 5回(利用者3人) ・区政を知る懇談会 2回(利用者2人) ・利用者懇談会 2回(利用者なし) ・男女平等センターまつり講演会 1回(利用者7人) ・登録団体企画助成事業 1回(利用者なし)	✓	-	-	-	・特に男女平等センター事業において保育申込が増加し、子育て世帯が講座に参加しやすい環境をつくることができた。 ・広く区民の方の参加を募る事業にあつては、原則として保育の受け入れを準備し周知することで、子育て世帯の参加を促進していく。	総務課
51	1-1-(3)			講座等での手話通訳者の設置	障害のある方が講座等に参加できるよう、手話通訳者を配置する。	【ダイバーシティ推進担当】 ・DV防止啓発セミナー(利用者なし) ・文京SOGIにじいろ映画会 1回 ・人権啓発映画会1回 ・人権と音楽講座 2回(第2回は利用者なし) ・性被害防止セミナー(利用者なし) 【男女平等センター事業】 ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回(利用者なし) ・プラスワンセミナー 5回(利用者なし) ・区政を知る懇談会 2回(利用者なし) ・利用者懇談会 2回(利用者なし) ・男女平等センターまつり講演会 1回 ・登録団体企画助成事業 1回(利用者なし)	✓	-	-	-	・手話通訳を設置していたが利用申込のなかった講座が散見された。 ・手話通訳付の講座等については、聴覚障害のある方が気軽に参加できるように、引き続き周知を行う。	総務課
52	1-1-(3)			特別保育(障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置)	文京区立幼稚園において、支援が必要な幼児が集団の中で生活することを通して、幼稚園教育の機能や特性を活かしながら、健常児とともにその幼児の発達を促していくことを目的とする。	継続43件 新規25件 合計68件	✓	✓	-	-	インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の充実という点では成果が見られる。継続した取り組みをしていく。	教育指導課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	
						目標1	目標2	目標3	目標4			
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (4)地域の学習拠点としての図書館づくり												
53	1-1-(4)			図書館の運営	平成22年4月より真砂中央図書館を除く7館3室が指定管理者制度の導入による図書館運営となり利用者サービスの向上を図る。	【平成27年度～】指定管理者による運営の第2期最終年度。開館日の拡大及び閉館時間の延長を継続して実施するとともに、多彩な行事の実施等、図書館サービスの拡充に取り組んだ。	✓	-	-	-	・行事や資料の展示等において企画力を発揮するとともに、広報誌の発行等においても効果をあげている。 ・指定期間が長期化することにより、安定したサービスができる反面、士気の低下を招かないよう図書館間の連携を強化する必要がある。	真砂中央図書館
54	1-1-(4)			保護者のための学習機会の提供	家庭教育への理解を深め、家庭教育を一層充実するために保護者のための学習機会を提供する。	かがく絵本は楽しい! 4月21日 参加者69名 ライブラリーパートナー研修 5月21日・30日 参加者25名 小学校での読み聞かせボランティア養成講座(4回連続) 6月6日～27日 参加者19名 大人のおはなし会 6月30日 参加者35名 大人も! 調べる学習を楽しもう 7月15日 参加者25名 大人のためのStorytime 11月10日 参加者34名 子どもと読書の講演会 11月16日 参加者44名 子育て中こそ図書館を楽しもうV 11月24日 参加者48名 講座すてきな紙芝居の世界 11月30日 参加者13名	✓	✓	✓	-	・読み聞かせの必要性を説くとともに、技術の向上を図るため、講座や講演会を実施。家庭や学校等での読み聞かせの実践につなげた。 ・読書を習慣づけ、図書館の利用促進を図るため、より多様な事業を展開することが求められる。	真砂中央図書館
55	1-1-(4)			親と子がふれあうイベント等の実施	親と子が共に楽しみ、ふれあいを深める行事を実施する。	子ども読書の日・春・夏・クリスマス子ども会(人形劇)等 82回実施 参加者4,120名 子ども映画会 19回実施 参加者1,375名	✓	-	-	-	・良質の文化の提供と図書館利用の促進が図られる。 ・乳幼児サービスの取組が奏功し、幼児の参加が増加しているが、小学生以上の参加が減少している。	真砂中央図書館
56	1-1-(4)			親子のふれあいを深める活動の支援	乳児期の早期から絵本を介して親子のふれあいを深め、親子の健全な関わりを育む子育て支援の一助とする。	【平成14年度～】ブックスタート(4か月児健診時実施) 2,010名 【平成24年度～】フォローアップ事業(1歳6か月児対象) 1,216名 乳幼児向け読み聞かせ行事 212回実施 参加者5,061名 育児関連図書、絵本の選び方や読み聞かせに関する図書の収集及び提供。	✓	-	-	-	・ブックスタートは対象者の97%以上に実施しており、その後の図書館利用に結びついている。 ・家庭での読み聞かせの習慣を定着させるため、フォローアップ事業の強化が必要である。	真砂中央図書館
57	1-1-(4)			児童・生徒を対象とした事業の充実	学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、児童・生徒を対象とした事業を提供する。	おはなし会 389回実施 参加者4,677名 新聞をつくろう 5月4日 参加者8名 世界最古の地球儀作っちゃおう! 6月30日 参加者10名 調べ学習関連事業 7回実施 参加者190名 小学生のための宇宙教室 7月6日 28名 ティーンズ向けハーダンガー刺しゅう教室 7月28日 参加者9名 小学生のための宇宙教室 8月6日 参加者32名 夕涼みおはなし会 8月28日 参加者18名 文化講座 11月10日 参加者16名 iPadで絵本をつくろう 3回実施 参加者38名 子どもフラワーアレンジメント教室 2回実施 参加者49名 工作会 8回実施 参加者209名 カルタ会 6回実施 参加者143名	✓	-	-	-	・多彩な事業を実施することで読書への動機付けとなる。 ・10代の読書離れ、図書館離れを改善するため、中高生向け行事の充実が求められる。	真砂中央図書館
58	1-1-(4)			教養を高める学習機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会を充実する。	資料の収集・提供、季節や時節の話題をテーマにした特集展示などの実施。 講演会・講座・読書会・朗読会等 72回実施 参加者2,037名	✓	-	-	-	指定管理者の自主事業を含め、多種多様な特集展示、行事を実施している。 ・館ごとの特色を活かし、区民の学習意欲を高める企画を一層充実させる。	真砂中央図書館
59	1-1-(4)			利用者開放用インターネット端末利用サービス(図書館の整備)	平成18年度～平成20年度において、区立図書館全館に利用者開放用インターネット端末を設置した。 利用者が図書館資料の検索を始めとして多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるインターネット端末利用サービスを実施している。	全館で19台設置。パソコンの利用は無料。また、真砂中央と小石川では、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、オンラインデータベース(官報情報検索サービス、日経テレコン21)の閲覧が可能。情報プリントアウトは有料。	✓	-	-	-	インターネット端末の設置及び各種データベースの導入により、利用者の知る権利を保障し、多様な要求に応えることが可能となった。	真砂中央図書館

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課
							1	2	3		
60	1-1-(4)			図書館ネットワークの充実	区内図書館相互、都立図書館や国会図書館との各種ネットワークの強化を図る。	第二ブロック(台東・北・荒川)を中心に、他自治体や国会との相互協力を実施。利用対象者は区民(在住・在勤・在学)のみ。国会図書館からの歴史的音源配信サービス、デジタル化資料送信サービスを実施。	✓	-	-	相互協力により、幅広い資料提供が可能となった。	真砂中央図書館
61	1-1-(4)			IT図書館システムの運営(図書館オンラインシステムの運営)	図書館システムを更新して利用者サービスを拡充するとともに、業務の効率化を図るものである。	インターネットによる利用者サービスを提供。資料検索、予約、レファレンスのほか、貸出延長や予約情報変更手続きが可能。また、おすすめリストや新着資料案内メール、返却期限日お知らせメールサービスも提供している。ホームページは、パソコン用だけでなく、携帯電話用、スマートフォン用のページも開設しているほか、視覚等障害者のための点字・録音図書専用の検索・予約ページも提供している。	✓	-	-	・利用者からの要望に応えるため機能を追加し、充実を図っていく。 ・ホームページを活用しての情報発信の充実が求められる。	真砂中央図書館
62	1-1-(4)			図書館運営の区民参画推進	区内の多彩な人材を受け入れることにより図書館サービスの充実を図るとともに、図書館運営に区民の参画を促進することにより地域に密着した図書館運営を目指す。	【平成14年度～】図書館ボランティア(ライブラリーパートナー)登録団体 11団体 おはなし会、布の絵本の製作、資料の装備・修理等を実施。ライブラリーパートナーを対象に読み聞かせ等の研修を実施。	✓	✓	✓	・区民に図書館運営の一端を担ってもらうことで、より多様な事業を行うとともに、区民にとって身近で親しみやすい環境をつくる。 ・研修を実施し、技術の向上を図る。	真砂中央図書館
63	1-1-(4) 1-3-(2)			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域資料の収集・提供を行うとともに、大河ドラマ「いだてん」とオリンピックに関する展示など、図書館資料を活用しての情報発信を行った。	✓	✓	✓	地域への関心の高まりによって、レファレンスや展示資料の利用が増加している。	真砂中央図書館
64	1-1-(4) 1-3-(2)			図書館ホームページの充実	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信する。	図書館ホームページに「子ども読書の部屋」「YA10代のためのページ」等を開設し、情報発信。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部業務を休止したことに伴い、ホームページを活用し、資料の検索や推薦図書の案内を行った。	✓	-	-	・「子どもと読書の部屋」は、図書館からの情報発信だけでなく、子どもと読書に係わる取組をする人々の交流にも活用できるよう開設したが、十分には活用されていない。 ・「YA10代のためのページ」は、中高生向けの内容の充実と情報の更新が必要である。	真砂中央図書館
65	1-1-(4)			文の京デジタル文庫の公開	区史や古地図のような貴重な資料の長期保存と後年の複製のために、地域資料のデジタル化を行った。	【平成24年度～】 「ぶんきょうの図書館 令和元年度版」をデジタル化した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部業務を休止したことに伴い、デジタル化資料を案内するケースが増加した。	✓	-	-	・古地図等の紙資料の劣化が進行する前にデジタル化することにより、長く閲覧に供することが可能となる。 ・行政資料の保存と公開に関する方針策定が課題である。	真砂中央図書館
66	1-1-(4)			ひなぎくおはなし会	日本女子大学児童文学研究会に属している学生が、子どもに絵本や紙芝居等の読み聞かせを行う 実施日:第4土曜日 目白台図書館にて開催	11回実施 参加者95名	✓	-	✓	学生との協働により、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	真砂中央図書館
67	1-1-(4)			えほんのじかん(大学生による読み聞かせ)	しいのみこどもかいに属している学生が、子どもに絵本や紙芝居等の読み聞かせを行う 実施日:第4土曜日 千石図書館にて開催	11回実施 参加者225名	✓	-	✓	学生との協働により、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	真砂中央図書館
68	1-1-(4)			文化講座	大学教授による講座(千石図書館)	「ドイツ語圏を知ろう!東京2020オリンピックパラリンピックドイツホストタウン文京」11月10日 参加者16名	✓	-	✓	指定管理者によって実施している事業で、大学教授の他、地域の施設の学芸員や医師等にも依頼しており、利用者からも好評である。	真砂中央図書館
1生涯学習 2.一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (1)主体的な活動を支える仕組みづくり											1-2-(1)
69	1-2-(1)			キャリアアップ講座の実施	個々の職員の生涯学習に対する認識を高めるために、自己啓発事業を実施する。	個々の職員の生涯学習に対する認識を高めるために、自己啓発事業を実施する。	✓	✓	-	・29年度から指定外講座も助成対象とした。 ・受講者を増やすことが課題である。	職員課
70	1-2-(1)			男女平等センター資料コーナーの充実	インターネット接続パソコンの活用及び図書館や関係機関との連携によって、男女平等参画に関する情報や資料を収集し提供する。	蔵書 図書7,012冊、新聞3紙、雑誌13誌、ビデオ・DVD等164本	✓	-	-	・実施事業のテーマや講師の著書、利用者の要望、関係機関・団体からの情報提供などを参考にし、男女平等参画に関する資料等の充実を図っている。 ・令和元年度は、48冊の図書購入(寄附を含む。)を行った。	総務課



整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4			
71	1-2-(1)			ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネータを行う。	ぼらんていあニュースの発行(年4回)各3,500部 「社会福祉協議会ホームページ」や「どっとファミコム」による情報提供 ボランティアコーディネータ	-	✓	✓	-	季刊発行として、年間4回発行した。	福祉政策課
72	1-2-(1)			ボランティア活動基盤づくり	ボランティア活動が円滑に行えるよう、ボランティア保険に関する案内や資機材の整備を行う。 ◎ボランティア活動室・機材の貸出し 印刷機、紙折り機、点字プリンター ◎ボランティア保険の加入受付	ボランティア保険の加入受付4,542人	✓	-	-	-	引き続き、ボランティア活動室の貸し出し等を行い、活動しやすい環境整備に努めた。	福祉政策課
73	1-1-(1) 1-2-(1) No.25再掲	92	環02-02	文京ecoカレッジ公開講座	区内で活動しているリサイクル団体の企画による公開講座を一般区民向けに行っている。	【平成12年度～】令和2年2月26日実施予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。	✓	✓	✓	-	・海洋プラスチックごみ削減をテーマとした講義を通して、2R優先の推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課
1生涯学習 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (2)活動成果披露の場の充実											1-2-(2)	
74	1-2-(2) 1-3-(1)			いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通して、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図る。	いきいきシニアの集い 令和元年11月23日～24日実施 参加人数(二日間総合計):5,152人	✓	-	✓	-	2日間の開催で延べ来場者数は6千人を超え、活況を呈した。作品展示や手芸等の実演コーナーを通して高齢者やその子世代、学生ボランティア等との世代間交流が促進され、高齢者の生きがい向上を図ることができた。	高齢福祉課
75	1-2-(2) 1-3-(1)			「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒になって「敬老の日」を祝う。 内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合う。また、お茶会を催す。	「敬老会」参加 延べ人数100人[シニア760人、リアン15人、一般25名、+出演者]	✓	-	-	-	落語から全員での合唱、ダンス(体操)等、身体も動かし飽きのこないプログラムを考え実施した。今回も職員によるダンスの祝福も好評をいただき、シニアの方々には大変喜んでいただいた。	高齢福祉課(福祉センター)
76	1-2-(2) 1-3-(1)			福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図る。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供する。	令和元年11月2日(土)～3日(日) 活動発表団体:67団体。(うち地域福祉関係:55団体) 協力一般団体:10団体 参加ボランティア:成人97人、大学生92人、高校生34人、手話通訳30人 イベント等参加人数(二日間総合計):3,920人	✓	-	✓	-	4千人近くの来場があり盛況であった。多様に渡ったワークショップやイベントを用意することで、多世代間(地域)交流が促進された。また、所属する町会からのボランティアだったり、消防や警察、地域の大学やお店の(ワークショップ)協力もあり、共生社会の街づくりの一助となった。	高齢福祉課(福祉センター)
77	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくる。	令和元年12月7日(土)～9日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,506人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場を作ることができた。	障害福祉課
78	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図る。	福祉作業所一歩いっぽ祭り 小石川福祉作業所 令和元年10月26日(土)開催 大塚福祉作業所 令和元年11月16日(土)開催	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課
79	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図る。	本郷福祉センターほんわか祭り 令和元年11月30日(土)開催	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課
80	1-2-(2)		教02-02	東京大学総合研究博物館スクール・モバイル・ミュージアム(地域大学等連携事業)	平成29年度からは地域大学等連携事業として、東京大学総合研究博物館の研究成果を教育センターで展示し、トークイベント等を実施する。	年間2テーマの展示を行い、トークイベントを10回実施した。小中学生873名、大人1162名の来場があった。	✓	-	✓	-	最先端の科学技術研究の成果を子ども達に還元することができた。	教育センター

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課
							1	2	3	4		
1生涯学習 2.一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (3)人材育成・活用の推進												1-2-(3)
81	1-2-(3)			大学の人材の審議 会での活用	大学の人材を、各種審議会等の委員として活用する。	アカデミー推進協議会委員委嘱(3名)	✓	✓	✓	✓	学識経験者の知識により客観的、総合的評価検討ができる。 スケジュール等から会議の回数、時間帯が制限されてしまう。	アカデミー推進課
82	1-2-(3)			大学の人材の起用	大学プロデュース講座・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)を充実させることで区内大学の人材を講師等として起用します。	・大学プロデュース講座(文京アカデミア講座) 15大学 35講座 ・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会) 2大学 2講座 ・文の京・最先端生命科学講座 1大学 2講座 ・夏休み子どもアカデミア講座 5大学 5講座	✓	-	✓	-	・区内大学と連携し、大学の人材やキャンパスを活用した講座等を提供することができた。 ・区内にある21の大学について、各大学の強みを活かした分野でさらに協力いただくことが必要である。	アカデミー推進課
83	1-2-(3)			職員の育成	文京区職員育成基本方針に基づき、職員一人ひとりが地域行政のプロとして、地域課題の解決に向けて自ら考え行動できるよう、職員の育成に取り組む。	文京区職員育成基本方針に基づき、職員一人ひとりが地域行政のプロとして、地域課題の解決に向けて自ら考え行動できるよう、職員の育成に取り組む。	-	✓	-	-	・引き続き職員の育成に取り組む。	職員課
84	1-2-(3)			ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進する。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成する。	文京区登録手話通訳者30名に対し、5月・7月・8月・11月・1月の計5回、専門研修を実施。	-	-	✓	-	専門的な知識を持ったボランティアを育成することができた。	障害福祉課
85	1-2-(3)		子03-02	子育てサポーター 認定制度	地域における子育て支援の担い手を育成するため、全国共通の子育て支援員制度と文京区独自のカリキュラムで構成する子育てサポーター認定制度を創設する。子育てサポーターに認定された方は、社会福祉協議会がファミリー・サポート・センター事業を拡充して実施する訪問型保育事業の担い手として活動する。 今回、子育てサポーター認定制度における子育て支援員研修について、区内大学との事業連携により実施する。	○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数 4日×2回 (1・2日目:貞静学園短期大学、3・4日目:全国保育サービス協会) ○アドバンスサポーター認定研修 研修実施回数 1日×1回(子育てひろば全国連絡協議会)	-	✓	✓	✓	スタンダードサポーター認定研修では、計24名をスタンダードサポーターとして認定した。 また、アドバンスサポーター認定研修では、計23名をアドバンスサポーターとして認定した。 今後は、受講生確保の周知の強化を行うとともに、本認定制度の事業見直しとして、従来、社会福祉協議会において、年4回程度実施していたファミリー・サポート・センター提供会員講習会を子育てサポーター認定研修に統合し、提供会員の質の向上を図るとともに、受講者にとって、より受講しやすい研修制度を形成する。	子育て支援課
86	1-2-(3)		環02-02	環境ライフ講座	環境保全について、日常生活と身近な視点に立った講座を実施し、地域における環境保全意識啓発活動等のリーダーとして取り組む人材を育成する。	講座期間:令和元年7月~令和元年11月 講座内容:「みんなで守ろう!文の京の環境」をテーマに学習 回数:全9回(うち、1回は環境イベントへの参加) 受講生:17人(うち、修了生は8人)	-	✓	-	-	・区内の庭園見学や身近な体験談など環境について学び、受講者で協力して、環境イベントへの準備、発表を経験することで、環境保全意識啓発活動等に取り組む知識となった。 ・過去の受講生の受講が多い。	環境政策課
87	1-2-(3)		94 環02-02	文京ecoカレッジリ サイクル推進サ ポーター養成講座	廃棄物を減らし資源循環型社会の構築を進めるためには、区民一人ひとりの日々の実践が重要である。「文京ecoカレッジ」は、地域でのリサイクル推進活動および区のリサイクル事業への区民への参画を進め、3Rの推進の実践につながる人材の育成及び活用を図るための「リサイクル推進サポーター」を養成する。隔年で既存のサポーターを対象にスキルアップ講座を実施。	【平成21年度~】令和元年5~6月計5回新規サポーター登録 予定者を対象にサポーター養成講座を開講した。参加者は12名。	✓	✓	✓	-	・講座の受講生は、3Rの推進、ごみ減量に関心の高い方が集まった。今後も新規サポーターの養成と既存のサポーターのスキルアップを継続して実施して、一層3R推進活動に取り組んでいく。	リサイクル清掃課
88	1-2-(3)			PTA育成(PTA合同 研修会:広報研修 会、合同講演会)	PTAを育成するため、学習の場として、また、PTA相互の交流を図るため、広報研修会、合同研修会を開催する。	【広報研修会実施日(参加人数)】 4月23日(44名)	-	✓	✓	✓	【広報研修会】 ・PTA広報紙作成の実践講座であり、初めて役員になったPTAIに好評である。	教育総務課
89	1-2-(3)			PTA育成(PTA連合 会主催事業の支援)	PTA連合会事業を共催または支援することにより、PTAを育成する。PTA相互の連携強化、家庭教育力の向上を図る。	①区立小学校PTA連合会岩井臨海学校施設見学会 ②区立中学校PTA連合会スポーツフェスティバル ③区立小学校PTA連合会バレーボール大会 ④区立小学校PTA連合会卓球大会 ⑤区立小学校PTA連合会バスケットボール大会	-	✓	✓	-	普段関わる事の少ないPTA会員同士が交流するよい機会となっている。	教育総務課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	
							1	2	3			4
90	1-2-(3)			生涯学習に関する 教員研修の実施	生涯学習の基礎づくりの場としての学校教育を 充実するため、教員に対する生涯学習の研修を 実施する。	進路指導担当教員に対して研修会を実施	-	✓	-	-	進路指導を充実するため、教員に対する生涯学習 の研修を今後も継続していく。	教育指導課
91	1-2-(3)			大学との連携による 学校活動支援事業 (大学等との連携に より、学生等を活用 した学校活動支援 事業)	大学生等ボランティアを活用した学習指導補助 員を派遣して、小・中学生の学力向上等を支援 する。	小・中学校22校で実施、大学生述べ121人派遣	✓	✓	✓	-	大学生等ボランティアを活用した学習指導補助員を 派遣し支援したことで、学力の向上に結びついてい る。今後も継続した取り組みで、学力向上に努めて いく。	教育指導課
92	1-2-(3)			バリアフリーパート ナー(大学等との連 携により、学生等 を活用した学校活動 支援事業)	バリアフリーパートナーとして、区内大学の学 生・区民・ボランティア等と協働し、特別な支援が 必要な幼児・児童・生徒をサポートする。	18小学校、2中学校、7幼稚園	✓	✓	✓	-	バリアフリーパートナーし、特別な支援が必要な幼 児・児童・生徒をサポートすることで、安心・安全な学 校生活を送ることができている。引き続き、支援を継 続していく。	教育指導課
93	1-2-(3)			総合的な学習の時 間(地域の人材の学 校での活用)	生活科・総合的な学習の時間の充実を図るた め、地域の人材を生かした区民講師を招聘する 。	各小学校・中学校で実施	-	✓	-	✓	地域の人材を生かし、生活科・総合的な学習の時間 の充実が図られている。今後も継続して、区民講師 を招聘していく。	教育指導課
94	1-2-(3)			大学との連携による 学習指導補助員配 置事業	学生ボランティアを学習指導補助員として区立 小・中学校へ派遣する。	32大学 東京大学、中央大学、お茶の水大学、日本女子大学 東洋大学など	✓	✓	✓	-	学生ボランティアを学習指導補助員として区立小・中 学校へ派遣することで、個に応じた指導が充実した。 次年度も継続して取り組んでいく。	教育指導課
95	1-2-(3)			学生による授業のイ ンターシッブ	学生が区立幼稚園・中学校で指導の補助をす る。	お茶の水女子大学	-	✓	✓	-	学生が区立幼稚園・中学校で指導の補助をすること で、個に応じた指導が充実した。継続して取り組んで いく。	教育指導課
96	1-2-(3)			特別支援教育相談 委員会	就学就園にあたって、相談のあった幼児・児童・ 生徒の状況を審議するため、専門委員を委嘱し ている。	筑波大学	✓	✓	-	-	就学就園にあたって、専門委員を委嘱することで、相 談のあった幼児・児童・生徒の状況を審議することが できた。今後も継続した取り組みを行う。	教育指導課
97	1-2-(3)			往還型教育実習	教育学科の学生が区立小学校において通年(1 年生秋から4年生まで)実習を行う。	東洋大学	-	✓	✓	-	教育学科の学生が区立小学校において通年(1年生 秋から4年生まで)実習を行うことで、学習指導の充 実が図られた。継続して取り組んでいく。	教育指導課
98	1-2-(3)		教02-02	大学連携協働ヘル プデスク(地域大学 等連携事業)	平成29年度からは地域大学等連携事業として、 区内大学等の高度な専門性や多様な人材を活 用し、科学教育事業や教員研修・研究事業等の 拡充を図るとともに、教員等を希望する学生の キャリアアップを支援する。	東京大学による個別学習相談に26件の申込みがあり、認知力 ウンセリングによる効果的な学習方法を学ぶことができた。	-	✓	✓	-	個別学習相談を実施することにより、生徒が効果的 な学習方法を自発的に使うことができた。	教育センター
99	1-2-(3)		教10-01	教員研修	区内大学の教授等を講師として招き、教員の指 導力向上を図るため、研修会を開催する。 参加対象：区内幼稚園、小・中学校教員	様々な教育課題に対応できる区立幼稚園、小・中学校の教員を 育成するために、16の教育課題研修を開催した。延べ41講座を 実施し、延べ1136名の教員が参加した。大学や学識経験者等 の専門家を講師として招聘し、教員の資質・能力の向上を図 った。	-	✓	✓	-	大学等の専門知識を活用し充実した研修を実施でき た。学校のニーズによりマッチした研修に改善するこ とが課題である。	教育センター
100	1-2-(3)			ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活 動への参加を促進する。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成 する。	夏のボランティア体験教室 参加者115人 手話講習会 修了者160人 文京ささえ隊ボランティア養成講座 修了者5人	-	✓	✓	-	講習会等の受講を修了した者全員が、必ずしもボラ ンティア活動につながるものではなく、実際の活動に つなげる取り組みについて課題が残る。	福祉政策課
101	1-2-(3)			障害者パソコン支援 ボランティア養成講 座	障害者の社会参加を支援する一助として、障害 者のパソコン使用を支援するボランティア養成 講座を開催	事業休止	-	✓	✓	-	29年度より事業を休止している。	福祉政策課
102	1-2-(3)			傾聴ボランティア講 習会	傾聴の技術を学び、施設などで傾聴ボランティ ア活動を行うことを目的としたボランティア養成 講座を開催	修了者18人	-	✓	✓	-	受講申し込み数が安定し、充実した講座となっている。	福祉政策課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	
						目標1	目標2	目標3	目標4			
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進												
103	1-3-(1)			宿泊施設事業及び山村体験宿泊施設の運営	区民の健康増進と福祉の向上を図るため、区民が一般料金より低廉な宿泊料金で利用できる宿泊施設と各種サービス条件等について協定を締結している。 区民と魚沼市民との交流や体験の場として、やまびこ荘の運営を業師スキー場組合に運営を委託し、山村体験宿泊施設として、区民に都会では得られない人や自然とのふれあいの機会を提供している。	協定宿泊施設については、昨年度同様12施設と協定を結び、区民の利用促進を図った。 やまびこ荘については、あり方検討会を開催し、設備の老朽化に伴う改修工事を実施する予定となった。 山村体験交流事業については、やまびこ荘主催事業13回、魚沼市観光協会主催事業7回の計20回開催となった。	-	✓	✓	✓	やまびこ荘は、令和元年度末で開設から37年が経過するが、平成6年度の温泉棟増築工事を除き、施設全体に係る改修は行っていない。 ボイラーやポンプといった設備については、20年以上稼働しており、今後やまびこ荘の運営を継続していくためには、機器の更新が必要となり、令和2年度において、改修工事を実施する予定である。	区民課
104	1-3-(1) 1-3-(2)			交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施する。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、ママとベビーのふれあい教室、ぐるぐるパザー等	-	✓	✓	✓	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施している。	区民課
105	1-3-(1) 1-3-(2) 3-3-(1)			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域広報紙発行補助34団体	-	✓	✓	✓	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課
106	1-3-(1)			各種サークル等の育成	区民の自主的な学習活動を促進するため、各種サークルの支援を行う。	消費者グループ活動助成 10名以上の消費者グループ活動の講師への助成1件	✓	✓	✓	✓	消費者団体の自主的な活動を支援できた。	経済課(消費生活センター)
107	1-3-(1)		高福03-05	文京区家族介護支援事業	区内に住所を有する、認知症の高齢者その他在宅の介護が必要な高齢者を現に介護する方を対象に、認知症家族交流会、介護教室等を社会福祉法人等に委託して実施する。主な事業内容は介護技術・方法に関する指導、介護保険及び保健福祉に係るサービスの情報提供、介護者同士の交流等である。また、認知症の方やその家族だけではなく、地域の方、介護保険の事業者や専門職の方など、誰もが集い、話せる場として認知症カフェを社会福祉法人等に委託して実施する。	各高齢者あんしん相談センターにおいて事業実施 家族交流会(年7回) 介護者教室(年8回) 認知症カフェふんにこ(年26回)※新型コロナウイルスの影響に伴う延期、中止により回数減	-	-	✓	-	・認知症家族交流会、介護者教室…講演会等の事業に連続させて開催するなど、集客や参加のしやすさ、情報の得やすさに留意しながら事業を実施した。引き続き、参加者に必要とされる情報が届くよう周知に努めていく。 ・認知症カフェ…圏域毎に工夫を凝らし開催している。住民主体のカフェの後方支援も継続しており、今後とも地域に根付いた認知症カフェが増えていくことが望ましい。	高齢福祉課
108	1-3-(1)			障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供する。	令和元年12月7日(土)～9日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,506人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供することが、障害者の励みとなっている。	障害福祉課
109	1-3-(1)		青02-01	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	区内で非営利活動を行う団体(NPO等)が実施する、青少年の社会参加を推進する事業や青年を育成する活動に対して、経費の一部を補助する。これにより、当該事業の充実を図り、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供し、青少年の社会参加を推進し、青少年の自立を促進することを目的とする。	【平成14年度～】 3事業に対し経費の一部を補助	-	-	✓	-	NPO等の特性を活かした、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供する各種事業が実施された。 様々な事業が展開できるよう、申請実績のないNPO等にも情報が行き届くよう、補助事業に関する周知の充実を図ることが課題である。	児童青少年課
110	1-3-(1)			さまざまな交流の機会の提供	男女平等参画のための相互交流の機会を提供する。	・男女平等センターまつり(10月26～27日 来場者数延1,869人) ・利用者懇談会 2回(①6月14日 参加者33人 ②12月11日 参加者33人) ・登録団体活動報告会1回(2月22日 参加者38人)	✓	✓	✓	✓	・男女平等センターまつりでは、日頃、センターで活動している団体の活動発表や、講演会を行うことでセンター利用者間の交流ができた。 ・利用者懇談会では、様々な意見や課題を聴き、改善・向上に活かすとともに認識の共有が図れた。 ・登録団体活動報告会は、令和元年度は団体活動フェアとして、登録団体に限らず誰でも参加可能なイベントを行った。 ・今後も継続して、多くの方のセンター利用を促し、情報の共有・交換を活発にすることでセンターの質の向上を目指していく。	総務課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	
							1	2	3			4
111	1-3-(1)			湯遊入浴デー	毎月第2日曜日及び第4日曜日を「湯遊入浴デー」として、区内在住者を対象に、区内実施浴場を100円(小学生以下は無料)で利用できる入浴デーを実施し、異世代交流の場を提供する。また、特別湯として、敬老の湯(9月の第4日曜日)・初春の湯(1月の第2日曜日)を実施している。	年間入浴者実績数:33,198人	-	✓	✓	-	・100円での入浴が可能なおかげにより、通常の営業日より入浴者が多い。 ・昨年度より入浴者数が減となっているため、PR等を行うことにより、増やせるか課題	生活衛生課
112	1-3-(1)			出会いの湯	公衆浴場が自ら計画、イベント等を企画し、特別湯等を実施する。 地域住民に積極的に参加してもらうことにより、高齢者、若者、親、子の交流の場としての公衆浴場の有効活用と活性化が図られる。	区内5浴場(文京浴場組合加盟店)で年12回実施	-	✓	✓	-	・毎月5浴場が単独或いは共同でイベントを行い、好評を得ている。 ・出会いの湯のイベントにより新たな入浴者数が増えているか、足りないところがないか見極めることが課題	生活衛生課
113	1-3-(1)			健康づくり自主グループ等の育成	健康づくり自主グループの活動に対し助言を行い、活動を支援する。	栄養関係健康づくり自主グループへの支援・助言	✓	✓	✓	✓	食事や栄養等の情報提供により、区民の健康づくりや保健衛生事業のサポートを行うことができた。会員確保が課題。	保健サービスセンター
114	1-3-(1)	97	環02-04	ステージ・エコ イン 区民ひろば	リサイクル事業のひとつとして、年6~7回区民ひろばでフリーマーケットを開催し、ゲスト団体のブースを併せて展開している。	5、7、9、11月に区民ひろばでフリーマーケット、2月に子ども服・陶磁器の無料頒布会を行った。フリーマーケットの来場者数は各約500~千名、子ども服・陶磁器の無料頒布会の来場者数は220名。	-	✓	✓	-	今年度も新規の方を優先で出店して頂き、2R推進の啓発を多くの方に行うことができた。安定した運営をめざし、屋内実施を検討。	リサイクル清掃課
115	1-3-(1)			ボランティアの交流・協働への支援	ボランティア・市民活動団体の交流を図り、活動しやすい環境をつくる。また、多様な協働を支援し、区内のボランティア活動がより活発化するように働きかける。	来場者780人	-	-	✓	-	平成30年度より、文京ボランティアまつりの実施内容を見直し、地域活動団体同士のつながりを創出できるよう、従来のブース形式からプレゼン形式に変更して実施し、ボランティア活動内容をPRした。	福祉政策課
116	1-2-(2) 1-3-(1) No.102再掲			いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通して、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図る。	いきいきシニアの集い 令和元年11月23日~24日実施 参加人数(二日間総合計):5,152人	✓	-	✓	-	2日間の開催で延べ来場者数は6千人を超え、活況を呈した。作品展示や手芸等の実演コーナーを通して高齢者やその子世代、学生ボランティア等との世代間交流が促進され、高齢者の生きがい向上を図ることができた。	高齢福祉課
117	1-2-(2) 1-3-(1) No.103再掲			「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒になって「敬老の日」を祝う。 内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合う。また、お茶会を催す。	「敬老会」参加 延べ人数100人[シニア60人、リアン15人、一般25名、+出演者]	✓	-	-	-	落語から全員での合唱、ダンス(体操)等、身体も動かし飽きのこないプログラムを考え実施した。今回も職員によるダンスの祝福も好評をいただき、シニアの方々には大変喜んでいただいた。	高齢福祉課(福祉センター)
118	1-2-(2) 1-3-(1) No.104再掲			福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図る。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供する。	令和元年11月2日(土)~3日(日) 活動発表団体:67団体。(うち地域福祉関係:55団体) 協力一般団体:10団体 参加ボランティア:成人97人、大学生92人、高校生34人、手話通訳30人 イベント等参加人数(二日間総合計):3,920人	✓	-	✓	-	4千人近くの来場があり盛況であった。多様に渡ったワークショップやイベントを用意することで、多世代間(地域)交流が促進された。また、所属する町会からのボランティアだったり、消防や警察、地域の大学やお店の(ワークショップ)協力もあり、共生社会の街づくりの一助となった。	高齢福祉課(福祉センター)
119	1-2-(2) 1-3-(1) No.105再掲			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくる。	令和元年12月7日(土)~9日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,506人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供することが、障害者の励みとなっている。	障害福祉課
120	1-2-(2) 1-3-(1) No.106再掲			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図る。	福祉作業所一歩いっぽ祭り 小石川福祉作業所 令和元年10月26日(土)開催 大塚福祉作業所 令和元年11月16日(土)開催	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課
121	1-2-(2) 1-3-(1) No.107再掲			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図る。	本郷福祉センターほんわか祭り 令和元年11月30日(土)開催	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	
						目標1	目標2	目標3	目標4			
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (2)地域で支える学習環境の充実												
122	1-3-(2) 4-3-(1)			文京博覧会 (ぶんぱく)2018	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介	R1.11.15~16開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 9大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、東京医科歯科大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、日本女子大学、中央大学 来場者数:12,796人	✓	-	✓	-	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行った。 区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要がある。	経済課
123	1-3-(2)			登録消費者団体との連携	必要とされる消費生活の情報提供を行い、消費者団体の活動促進を図る。	消費者団体登録数/7団体 文京区消費者団体連絡会6回 消費生活見学会2回 消費生活展は新型コロナウイルス感染拡大予防のため事業中止	✓	-	✓	✓	消費者団体と定期的に会合を行い、消費者被害防止等に関する情報共有ができ、活動の促進が図られた。	経済課(消費生活センター)
124	1-3-(2)			障害者施設の学園祭への参加	大学連携会議で提案したものが具体化し、障害者施設自主製品の委託販売を実施。今年度は5施設が出店(障害当事者も参加)。	令和元年12月14日(土)・15日(日) 貞静学園短期大学学園祭にハートフル工房外部出店	-	-	✓	-	障害者施設自主製品の委託販売を実施することができた。	障害福祉課
125	1-3-(2)			文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)における区内大学との地域連携	毎月1回開催されている文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)で、区内大学生との協働として販売会内でのイベント企画等を行っている。学生は障害者と接する学びの機会となっている。	- (※貞静学園短大の授業・実習と日程重複のため、令和元年度は連携イベントの実施なし)	-	-	✓	-	区内大学生との協働として、販売会内でのイベント企画等を行うことができた。学生にとっては、障害者と接する学びの機会となっている。	障害福祉課
126	1-3-(2)		青01-01	文京区「家庭の日」啓発	毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいや結びつきを深めるため、各種啓発事業を展開している。	・広報啓発用植物の種9,200個を作製し、区立小学校全児童へ配付 ・文京区青少年健全育成会が実施する家族のふれあい促進事業に対し、補助金を交付 ・文京区「家庭の日」に合わせ、11月10日(日)に文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」を実施	-	-	✓	-	広報啓発用植物の種の配付及び「文の京こどもまつり」等の事業を通して、家庭の意義を見直す機会を創出するとともに、家族のふれあいの場を提供し、啓発の充実を図った。 事業等の継続実施による意識啓発が重要であり、事業の性質として、短期的な効果が測れない点が課題である。	児童青少年課
127	1-3-(2)		青01-01	文京区青少年健全育成会活動支援(平成27年4月より、文京区青少年健全育成会へ変更)	青少年の健全育成のため活動している文京区青少年健全育成会(9地区)を支援する。	・事業補助 ・会長会 年3回 ・地区連絡会 年1回 ※地区連絡会の1回分及び委員研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止	-	-	✓	-	地域の特性を活かして実施する事業に対して補助を行うとともに、地区連絡会等の開催を通して情報交換を行い、活動の充実を図った。 地域団体、PTAなど幅広い年代が連携して事業を実施することにより、多様なつながりが生まれ、地域の交流が促進された。	児童青少年課
128	1-3-(2)			PTA育成(親子ふれあい教室)	PTAが実施する親子のふれあいを深めるための事業を支援し、経費の一部を負担する。	対象:区立幼稚園、小学校、中学校 全40校(園) 【実績:37校園】	-	-	✓	-	PTA、児童生徒及び地域住民が交流するよい機会となっている。	教育総務課
129	1-3-(2)			学校支援地域本部事業	地域の教育力の活性化を図り、子どもたちの「生きる力」「確かな学力」を育むため、地域全体が学校教育を支援する体制を整備し、推進する。 また、本事業は、地域住民等の学習成果を活用する機会にもなっている。	平成20年度より開始。現在区立小学校16校、中学校7校に設置。 各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々が、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っている。 平成28年度から開始した学習支援ボランティア事業は12校に加え、社会教育関係団体が1団体実施している。	✓	-	✓	-	・学習支援ボランティア事業は、少人数での学習支援により子どもたちの学力向上、学習の習慣づけになっている。 ・地域コーディネーター及び学習支援ボランティアが不足している学校もあるため、より幅広い人材確保が必要である。	教育総務課
130	1-3-(2)			青少年委員による学校支援活動等	青少年委員会に、学校支援に深く関わりのある事業を委託することにより、地域とのつながりを深め、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するとともに、青少年の健全育成を推進する。	6事業を青少年委員会へ委託した。 ・五者合同研修会(6月実施、講師:JFA福田哲郎氏) ・中学生サミット(6月・12月実施。各区立中学校生徒会役員が参加) ・小学生向け事業(7月実施、会場校:小日向台町小、参加者79名) ・青少年委員会HPの更新 ・はたちのつどい「文の恩返し」(1月実施。参加者122名) ・クリーンウォークは天候不順により中止	✓	✓	✓	-	他校の児童や生徒の交流の場を提供しており、多くの事業において定員を超える参加の応募がある。	教育総務課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標				特記事項(効果と課題)	担当課
							目標1	目標2	目標3	目標4		
131	1-1-(1) 1-3-(2) No.30再掲			地域行事への学校の参加の促進	地域の様々な催しに学校が積極的に参加し、地域と学校の連携を図る。	各幼稚園・小学校・中学校において、地域のイベント等に幼児・児童・生徒が参加	-	✓	✓	-	地域の様々な催しに学校が積極的に参加することで、地域と学校の連携を図られている。	教育指導課
132	1-1-(2) 1-3-(2) No.42再掲			産学官が連携するための拠点づくり	産学官が連携して創業及び中小企業支援を進めていくために、連携の核となる新たな拠点づくりを検討する。	創業に係る現在の経済情勢を踏まえ、区の方針について検討を実施した。	-	-	✓	-	連携のあり方、手法についてもあわせて検討する必要がある。	経済課
133	1-1-(4) 1-3-(2) No.85再掲			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域資料の収集・提供を行うとともに、大河ドラマ「いだてん」とオリンピックに関する展示など、図書館資料を活用しての情報発信を行った。	✓	✓	✓	-	地域への関心の高まりによって、レファレンスや展示資料の利用が増加している。	真砂中央図書館
134	1-1-(4) 1-3-(2) No.86再掲			図書館ホームページの充実	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信する。	図書館ホームページに「子ども読書の部屋」「YA10代のためのページ」等を開設し、情報発信。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部業務を休止したことに伴い、ホームページを活用し、資料の検索や推薦図書のご案内を行った。	✓	-	-	-	・「子どもと読書の部屋」は、図書館からの情報発信だけでなく、子ども読書に係わる取組をする人々の交流にも活用できるよう開設したが、十分には活用されていない。 ・「YA10代のためのページ」は、中高生向けの内容の充実と情報の更新が必要である。	真砂中央図書館
135	1-3-(1) 1-3-(2) No.142再掲			交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施する。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、ママとベビーのふれあい教室、ぐるぐるバザー等	-	✓	✓	✓	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施している。	区民課
136	1-3-(1) 1-3-(2) 3-3-(1) No.143再掲			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域広報紙発行補助34団体	-	✓	✓	✓	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (3) 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進											1-3-(3)	
137	1-3-(3)			災害時における相互協力に関する協定書	防災時における避難場所の提供等	6大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、筑波大学、東洋大学、三室戸学園、文京学院大学 ※各大学と災害時の連絡先をお互いに確認した。	-	-	✓	-	避難所以外の区有施設を二次的な避難所として開設した後に、避難所に収容しきれない避難者を受け入れてもらう施設としての役割などを協定で締結している。 避難所開設要員の確保や避難物資の輸送が課題と認識している。	防災課
138	1-3-(3)			防災訓練	協定締結に基づき、東洋大学・地元町会・区とで防災訓練を実施。	お茶の水大学の学生及び教職員に対し、起震車を活用した地震、体験煙体験ハウスを実施し、600名が参加した。 また同じく協定締結先である日本女子大学に対しても防災教室として起震車を活用した地震体験、を実施し、200名が参加した。	✓	✓	✓	-	・防災教室を実施し、昨年度に引き続き協定締結先との連携の強化を図った。 ・今後も協定締結先と平常時からの協力関係をさらに構築することが必要であり、地元町会との連携を図ることが課題である。	防災課
139	1-3-(3)			災害時における母子救護所の提供に関する協定書	防災時において、妊産婦・乳児救護所としての施設提供等	5大学(跡見学園女子大学、順天堂大学、貞静学園短期大学、東洋学園大学、日本女子大学) ※跡見学園女子大学では、区と協力し、妊産婦・乳児救護所開設訓練を行った。 ※各大学の関係者等と「妊産婦・乳児救護所ガイドライン」(平成31年3月作成)改訂の協議を行った。	✓	✓	✓	-	災害弱者といわれる妊婦や乳児を抱える母親が安心して避難できる避難所として1次避難所として開設する。	防災課
140	1-3-(3)			新成人を祝い、成人としての自覚を促す式典の開催	区内の新成人を含めた「はたちのつどいを考える会」によりアトラクション等を選定し、新成人のための式典を開催する。	区内の新成人を含めた「はたちのつどいを考える会」によりアトラクション等を選定し、新成人のための式典を開催する。	-	-	-	✓	「はたちのつどいを考える会」を5回実施し、新成人が中心となり式典の内容検討を進めた。	区民課
141	1-3-(3) 4-2-(4)			商店会との連携	商店会イベントの運営にインターンシップの一環で学生が参加	R1.11.17 お客様感謝の朝市と商栄会まつり 文京学院大学 300人	-	✓	✓	✓	商店街街区の来場者が多かったため、日常の会話や顔なじみへの進展・活性化が図れた。	経済課
142	1-3-(3)		産05-02	とびだせ！消費者きょういく	区内各施設へ消費生活センターが出向き、若者や高齢者の消費者被害防止のための講義や相談を受け付ける。	クールアースフェア1回 産業とくらしプラザ3回 計4回	✓	✓	-	✓	高齢者や若年者の消費者被害防止を呼びかけることができた。	経済課(消費生活センター)

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	
						目標1	目標2	目標3	目標4			
143	1-3-(3)			団体への講師派遣 制度の実施	団体の自主的な学習を促進するため、学習団体等が合同で講習会等行う場合に講師を派遣する。	○大塚児童館「赤ちゃんの夏対策」(6月、40名) ○後楽幼稚園「幼児の生活リズム」(7月、22名) ○大塚地区町会連合会「高血圧・脳血管疾患の予防とコントロールのために」(7月、27名) ○日本森林林業振興会「健診マスター～生活習慣病を中心に～」(1月、28名)	✓	-	✓	-	子育てや生活習慣病予防に関する知識の提供、地域資源の周知等を行う機会となった。	保健サービスセンター
144	1-3-(3)	99		文京エコ・リサイクルフェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指すため3R推進月間に合わせて、リサイクル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民との交流を図る。	令和元年11月30日にシビックセンター内にて開催した。19団体が出展し、およそ600名が来場した。	-	✓	✓	✓	事業実施が天候に左右されること、(車両誘導・駐輪所警備など)周辺業務に人手が割かれ、従事者の役割分担に支障が出ることから、令和元年度より屋内実施に変更する。	リサイクル清掃課
145	1-3-(3)			ふれあい給食・ふれあい会(学校行事への住民参加)	地域の人やお年寄りを給食に招待しコミュニケーションを図る(小・中学校でのふれあい給食) 地域の人やお年寄りとの交流会を開く(幼稚園でのふれあい会)	各幼稚園・小学校・中学校で実施	-	-	✓	-	小・中学校でのふれあい給食では、地域の人やお年寄りを給食に招待しコミュニケーションを図ることにつながっている。 幼稚園のふれあい会では、地域の人やお年寄りとの交流につながった。	教育指導課
146	1-3-(3) 3-3-(1) 4-3-(3)			社会科副読本の作成及び購入(地域についての学習の推進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するため社会科副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたしたちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購入する。	ふるさと学習副読本の作成(デジタル版も含む) 小学校版「わたしたちの文京区」を大きく改訂した「わたしたちの東京都」購入 「わがまち文京」中学校版の作成	✓	✓	-	-	地域の歴史や伝統・文化を理解するためのふるさと学習副読本を作成することができた、	教育指導課